



「シャボン玉」や唱歌「故郷」など童謡・唱歌のふるさと中野市。この中野市をイメージし、音楽親善アンバサダーの「麻衣」さんが作詞した「空みあげて」、自然の尊さ、生きること、愛することの大切さを力強く表現しているこの歌を耳にすると、心の中に生まれ育った「ふるさと中野市」の情景が、ふと浮かび上がります。

### 中野市イメージソング

#### 空みあげて

いま目を閉じれば 連なる山々  
朧にかすむ月に 菜の花咲きほこる

あざやかな紅葉 新たにはなやぎ  
ふかいふかい雪を踏む 足音きこえる

ひとり旅だっぴいま  
信じるくに(州)を想う

いつも一緒だった 大きなりんごの木

いまを生きるそれは愛 愛する事 強くなれる  
いつも胸にゆめ抱き 空みあげて歩もう

泣きたくなったら ここにおいでよ  
ことりたちがささやく 帰っておいでと

いつか年老いてゆめを わすれかけてしまっても  
咲きたてのあの バラのように やさしくありたい

いまを生きるそれは愛 愛する事 希望のしるし  
やさしい風がぼくたちを いつでも待ってるから

いまを生きるそれは愛 愛する事 強くなれる  
いつも胸にゆめ抱き 空みあげて歩もう

偉大なふるさと  
世界がひとつになれ

※QRコードが読み込めない場合は、「YouTube 中野市  
イメージソング 空みあげて」と検索してください。



動画を視聴できます

作詞 麻衣  
作曲 松本俊明  
編曲 宮野幸子  
唄 麻衣

### 100年先まで愛され 歌い継がれる曲に

中野市音楽親善アンバサダー  
麻衣さん



日本全国の人々に100年以上も愛され続けている曲「ふるさと」。その曲が生まれた地のテーマソングを書く、光栄ながらも、その重みも受け止め、どんなことを歌詞に込めるべきなのかを非常に悩みました。

ふるさとは中野市の作家高野辰之が作った曲ですが、日本全国の人が口ずさめる、なぜだろう？とかがえていくと、この曲は、美しい日本の自然、愛する人たち、そして毎日悩みながら生き、ふとした時に思い出す心の中のふるさとを歌っていて、歌詞のひとつひとつに、自らの感情を重ねられるのだと

いうシンプルなことに改めて気づきました。ならば、中野市のテーマソングも聴いてくれる方々、すべての人に届くような歌詞にしたいと強く思いました。

私が歌をつくる、歌う上でいつも常にかんがえていることは、どうしたら、自分が自分に勝てるかということです。勉強する、仕事をする、人と一緒に生活をする、すべては自分との戦いで自分が輝いていなければ、その力は発揮できない。でも、ただ、自分が輝きたい魅力的になりたい！という願望だけでは、人は強くなれない、でも、誰かのためにがんばろうと思ったときに出る人間のパワーほどエネルギーギッシュなものはないと思うのです。

生きて行くということは、まわりの人を愛することそのもの。私はそう思うのです。愛することができれば、優しさをもった強い人になれるのではないか、その思いでこの歌を作り、そして、これから先100年先までもこの曲が歌い継がれることを願っています。

### 麻衣さんの参加するイベントを紹介！！

#### 中西文化の日



中野西高等学校では、地域とのつながりを持ち、今後も、愛され、認められる学校であることを目指し、「中西文化の日」を開催します。

今年は、中野市音楽親善アンバサダーの麻衣さんをお招きします。

- ◇期日 11月5日(木)
  - ◇時間 午後2時～3時30分
  - ◇会場 中野西高等学校大体育館
  - ◇内容 中野市イメージソング「空みあげて」、校歌などの歌唱、交流
- ※参加希望の方は、事前にお問い合わせください。

問 中野西高等学校 ☎ (22) 7611



キラリ 音楽で輝く  
★ 中野のチカラ

たけだただよし  
武田忠善さん  
(国立音楽大学学長)

本市竹原出身のソクラリネット奏者。1975年国立音楽大学器楽学科卒業。フランス国立ルーアン音楽院に留学し巨匠ジャック・ランズロ氏の下で研鑽を積み、同音楽院にて一等賞を得て卒業。1977年パリ・ペラン音楽コンクール第1位、78年第47回日本音楽コンクール第1位、続く第35回ジュネーブ国際音楽コンクールでは、日本人初の入賞をはたし銅メダルを受賞。国立音楽大学演奏・創作学科教授として多くの逸材を育てるとともに、東洋人クラリネット奏者として初めてパリ国立高等音楽院でマスタークラスを担当するほか、シンガポール、韓国、台湾、スペイン、アメリカに招聘されるなど、近年海外でも演奏家、教育家として大いに注目されている。2015年4月学長に就任。

開催

童謡・唱歌のふるさと  
信州中野アンサンブルフェス

問 文化スポーツ振興課文化振興係  
☎(22)21111(内線394)

市では、ゆかりのある市町村と連携を図り、音楽による交流促進と音楽文化の発展に寄与することを目的に、「童謡・唱歌のふるさと信州中野アンサンブルフェス」を開催します。

当日は、姉妹都市、音楽姉妹都市、知音都市(糸魚川市)、友好都市、信越自然郷および近隣自治体の音楽団体のほか、本市出身の武田忠善さんが学長を務める国立音楽大学



▲▼昨年の様子



から坂口あかりさんが参加します。

- ◇期日 10月11日(日)
- ◇時間 午後1時30分
- ◇会場 市民会館ホール
- ◇入場料 無料
- ◇主催 中野市

姉妹都市

中山晋平とのコンビで「シャボン玉」や「船頭小唄」など、数多くの童謡・流行歌を作った作詞家「野口雨情」との深い縁で交流している茨城県北茨城市のことで、昭和55年5月29日に、各分野において更に交流を深め、相互の繁栄をもたらすため一層努力することを誓い、協定が結ばれました。



▲野口雨情

知音都市

日本初の流行歌「チューリップの唄」の誕生に携わった、①島村抱月(島根県浜田市)、②相馬御風(新潟県糸魚川市)、③松井須磨子(長野市)および中山晋平の4先人の縁で交流している都市のことで、平成2年8月2日に相互の文化芸能を学び、先人の偉業を称えることなどを目的に、民間での交流を行うこととしました。



▲写真：左(③)、手前中(①)、右(②)

糸魚川市  
人口：47,702人  
世帯：17,433戸  
長野市  
人口：381,511人  
世帯：146,520戸  
浜田市  
人口：61,713人  
世帯：24,972戸

アンサンブルフェスにも参加する!  
都市交流を知ろう!



北茨城市  
人口：47,025人  
世帯：16,966戸

仙台市  
人口：1,045,986人  
世帯：465,260戸

竹田市  
人口：24,423人  
世帯：9,588戸



▲瀧廉太郎(左) 土井晩翠(右)

音楽姉妹都市

日本のフォスター「中山晋平」の生地、中野市とともに、世界的作曲家「瀧廉太郎」の生地である大分県竹田市、荒城の月の作詞者「土井晩翠」の生まれた宮城県仙台市のことで、音楽を通じた文化的な都市づくりなど、共通の目的を持つ3市が、相互の繁栄と発展をもたらすことを目的に、昭和42年1月18日に協定を結びました。

友好都市

旧豊田町(静岡県磐田市)と旧豊田村(中野市)が同じ「豊田」を名称とする縁で交流が始まりました。「両町村の次代を担う子どもたちの将来のために」という考えに基づき、平成15年5月3日に各分野にわたって交流を深め、両町村の繁栄と幸福をもたらすために一層の努力をすることを誓い、協定が結ばれました。



▲交流の様子

磐田市  
人口：168,625人  
世帯：59,414戸

問 営業推進課観光交流係  
☎(22)2111(内線373)

(注) 人口・世帯数は平成22年国勢調査結果より

(※1) 瀧廉太郎記念館所蔵 (※2) 仙台文学館所蔵